

### ケアマネの資質向上と今後のあり方検討会 3回目開催

5月31日、ケアマネジャーの今後の研修体系などを検討する厚生労働省の「第3回介護支援専門員の資質向上と今後のあり方に関する検討会」(座長=田中滋・慶応大学大学院教授)が開催されました。

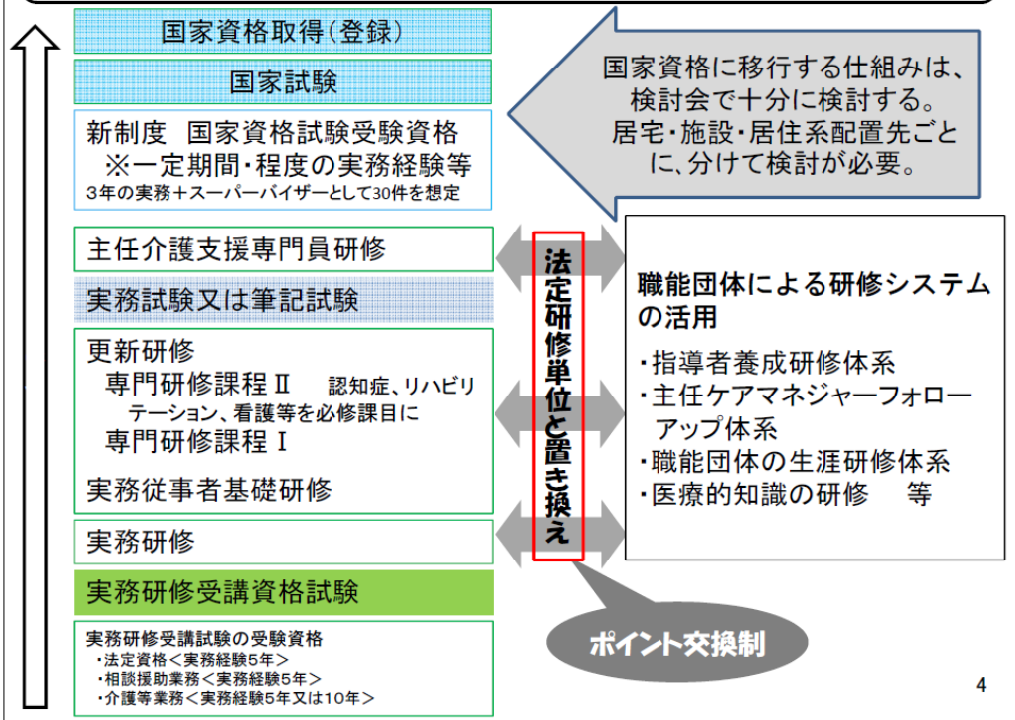
会では、日本介護支援専門員協会の木村隆次会長らメンバーによる意見発表が行われ、それに対する意見交換が行われました。

木村会長は、現在は介護保険制度下で位置づけられた都道府県知事の任用資格であるケアマネジャーを国家資格化し、介護だけでなく医療、保健、障害福祉制度それぞれの利用者に対し、ケアマネが横断的にマネジメントを担当する仕組みを提案しました。

そのために、現任ケアマネまたは4年制大学で養成されたケアマネ候補者らが、国家試験を受験した上で、新しいケアマネジャー資格を取得する案を示しました。

この際、現任ケアマネについては、一定の実務経験を求めるなど、国家資格に移行する仕組みは、検討会において、居宅、施設、居住系サービスごとに十分検討する必要があるとしました。

#### 現任ケアマネジャーの資格及び試験について



#### 新ケアマネジャーの資格及び試験について

